

2013 年度活動報告

NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部
ピボットフット

I. 総 括

活動 12 年目の 2013 年度も様々な活動を通して地域への社会的影響と認知度は深まり、スポーツ教室事業だけではなく地元民間企業や関係諸団体との協働事業の実施や提案をすることができ、倶楽部の将来に向けて貴重な一年でありました。2020 年東京五輪開催が決定しスポーツ庁設置に向け国内のスポーツ環境が大きく変化し始めた年でもありました。東京五輪を支えるためにもますます地域スポーツクラブが日本国内でスポーツ界を支える地域の原動力として、また、地域社会のプラットフォームとしてさらに期待が大きく膨らんだ年でもありました。

あらためて日本のスポーツ界を底辺で支える我々地域スポーツクラブの地道な活動が国民生活にとって必須となって来たようにも思います。

1. 2013 年度は、文部科学省が制定したスポーツ基本計画を具体的に進める 2 年目として、その政策の重要な項目として地域スポーツの強化育成及びトップアスリートのセカンドキャリアの場づくりという大きなテーマが、ピボットフットのスポーツを通しての地域振興と合致し目指す方向性にさらに自信を深めた年でもありました。
2. 文部科学省委託事業 3 年目で最終年を迎えた「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を全国の総合型スポーツクラブの中から選抜されピボットフットが受託し中心となって、都内関係 4 クラブ（田園調布グリーンアカデミー、はちきた SC、南千住 SC、すぱんく）と大田区内 6 小学校（松仙、新宿、東調布第一、田園調布、調布大塚、羽田）はじめ都内合計 13 小学校にトップアスリートや体育コーディネーターを派遣し、大変好評を得ました。総勢約 30 名の推進プロジェクトを編成組織し活動、2 年間の反省を生かしながら、関係皆様のご協力を得て無事完了することができ、改めて感謝申し上げます。この事業を通してスポーツ界の底辺の重要性と新しいスポーツインフラを構築する必要性を痛感いたしました。今後は如何に地域と一緒に継続していける方法を行政も巻き込んで検討していくかが課題と考えます。
3. 特に、今年度も小学校の派遣先である羽田小学校で派遣コーディネーター（保健体育教員免許取得者）の専門とするダンスで、ピボットフットとして新規の教室が開校され、小学校での体育の授業と連動して子どもたち

に正しい技術指導ができたことは、学校と地域クラブの連携協働の大変良い方向性が見えた年でもありました。さらに、懸案であった中学校の部活動への指導者派遣で大田区内2中学校のバスケットボール部に外部指導員として指導者を派遣、小中一貫指導体制の一步が始まった年でもありました。また、ピボットフットで開催しているチアリーディングが、来年度中学校の部活動に検討して頂けるようになったのは、大きな進歩といえます。

4. さらに、東京での3拠点クラブ（調和 SC、練馬大泉 SC、ピボットフット）と川崎1クラブ（高津 SELF）が連携協働として、各クラブが点での活動から面での活動の2年目に展開を広げることができました。月1回の定例会議を中心に、2月には東京でスポーツ関係企業の協力を得て、4拠点クラブ合同主催で事業化セミナー「次世代による地域スポーツビジネスを応援します」を開催することができ、今後のスポーツビジネスのニーズを実感しました。また、昨年につき4拠点クラブとして文部科学省に今後の提言をまとめ提案も行うこともできました。
5. 本年度より、理事長が幹事長に就任した全国 SC 連絡協議会（全国約3400の地域総合型スポーツクラブ）も自主自立に向け事業化の視点での議論がさらに深まり、各クラブはもとより県、ブロック、全国 SC としての今後の運営基盤の確立が急がれることとなりました。また、理事長が昨年事業部長の立場で提案し開発してきた全国 SC オリジナル情報交換ポータルサイト（SCナビ）が、東京スポーツリンク協力のもと TOTO 助成金を受け11月末に第一段階が完成し、今後全国 SC で活用しながらクラブネットワークの強固な情報流通インフラとして事業展開が進むものと期待されることとなりました。
6. 理事長が全国 SC 連絡協議会の幹事長に就任したことで、日本体育協会地域スポーツ育成専門委員会委員及び中央企画班班員、マネジメント資格部会部員に就任、様々な立場から地域スポーツクラブの育成普及に関して提案できるようになり活躍が期待されることになりました。さらに、10/26－11/3まで日本体育協会主催での「クラブマネジメント指導者海外研修事業」で地域スポーツクラブの原点であるドイツ訪問団の日本団団長として現地を視察し貴重な体験をしてきました。
7. 本年度も大田区スポーツ審議委員として理事長が大田区のスポーツ推進基本計画を具体的に進めることに携わり、新たなスポーツインフラとして提案した、大田スポーツコミッション構想や大田区内スポーツ団体情報交流ポータルサイト構想が中間答申として今後のテーマとなりました。
8. 大田区スポーツ推進委員中心に区内総合型スポーツクラブが8月に大田区総合体育館で大田スポーツクラブ交流会が開催されピボットフットからバスケットボール・チア・ダンス・壮快体操・ビートフィットネスから約200人が参加、2月に総合型スポーツクラブ連絡協議会（おたスポ

ーツネットワーク)が正式にスタート、フェイスブックも開設し盛んに情報交流がはじまりました。さらに、3月の議会においてスポーツ推進議員連盟の発足が承認され増々我々の活動と良い連携協働で区内のスポーツ推進が期待されることとなりました。

9. 桑田理事長が理事長を務めている一般社団法人東京スポーツリンク(TSL)では、SCオリジナル情報交換ポータルサイト(SCナビ)の開発をTOTO助成金を受け完成することができ、全国SCとの連携で今後の使用に期待が持たれることとなりました。
10. 都立蒲田高校とはエンカレッジスクール6年目にあたり、継続して体験授業の市民講師を、ピボットフットから4種目の授業に講師を継続派遣、学校自身が大きく変わりつつあることを実感しました。授業は好評を博し学生の手ごたえもあり期待も大きい。さらに、蒲田高校を拠点に倶楽部との協働で新しい地域スポーツ文化形成で今後の展開が期待される。また、桑田理事長が本年度も蒲田高校および都立雪谷高校から学校運営協議会の委員として委嘱を受け参加しスポーツの専門家として提案をさせて頂きました。
11. ヤマトホールディングス(株)が地域社会貢献として、ヤマト羽田クロノゲート内に建設した新アリーナー(ヤマトフォーラム)が完成しその運営をピボットフットが受託し、10月1日よりオープンさせることができました。ピボットフットとしては日本の一流企業の施設運営を受託することができたことで、より企業と地域を繋ぐとのテーマでの協働で地域社会に貢献できるプログラムを提供できるものと期待が膨らむこととなりました。オープン以降様々な方が見学に来られ、海外から韓国のスポーツ関係者や地域総合型スポーツクラブの原点であるドイツからの視察があり広がりがありました。3月度末アリーナー使用稼働率77.5%と地域社会のニーズが高く、より一層地域社会との連携が必要だと考えます。
12. 基幹事業である①バスケットボール教室は、小学生から成人まで8クラスの開催で年間156人の参加者を迎え、②テニス教室で15人、③高齢者対象の健康体操教室で24人、④チアリーディングでは、雪谷教室と出雲教室で合計183人、⑤大田区からの依頼事業としての中学生スポーツ教室に42人、⑥スピードミントン教室で16人、⑦ビートフィットネス教室で22人、⑧リズムダンス教室で63人、⑨サッカー教室で32人、⑩機能改善教室で8人、⑪ヨガ教室で5人、⑫太極拳教室で7人、2013年度倶楽部在籍総数は、417人で、年間延べ教室開催は1,213回、延べ参加者は18,195人となりました。新規教室としてリズムダンス羽田教室と機能改善・ヨガ教室が開校され、さらに、バスケットボールでのフリータイム・ゲームタイムとして新規イベントも開催され100人のバスケットボール愛好者が参加しました。また、葛飾区社会福祉協議会よりチアダンス教室に継続して講師派遣要請があり指導員を派遣し交流がなされました。

13. 昨年につき、雪谷チアジュニアクラスの中学・小学生高学年 20 人選抜編成ヴァーシテイチームが、2014 年 2 月 1 日駒沢体育館で開催された USA ナショナルズ東京都予選を部門 3 位で通過、3 月 29 日幕張メッセで開催された全国大会に出場、部門で 3 位の入賞を飾り、2015 年 3 月にアメリカで開催される世界大会の出場権を得て夢は世界へと広がりました。また、前年につき小学生編成のジュニアヴァーシテイチーム 23 人も同大会に参戦、東京都予選で部門 3 位で通過、本大会では悲願の初優勝を果たし、地域のシンボルチームとして今後の活躍が期待されることになりました。さらに、秋に東京で開催されたアジアオープングループスタント部門に参加した高校生を中心とした 5 人のメンバーが大会で 2 位を獲得、見事 2014 年 4 月にアメリカフロリダで開催される世界大会の出場権を獲得することができました。また、12 月 22 日に念願の自主発表会をゲストチームをお迎えしてヤマトフォーラムで開催することができ約 700 人の参加者で大盛況となりました。
14. 大田区の行事や商店街等地域のイベントや大会に参加し活動を広めました。其々での参加者の反応は非常に良く、特に世代や学校さらに地域間を超えた一体感が自然に沸いてきたことも、倶楽部の考え方や提供内容が参加者および関係者に評価されたと思います。
15. 地域との関係強化は、継続して大田区より区主催の「区民スポーツまつり」や「大田ふれあいフェスタ」、「各文化センター祭り」等に参加要請を頂き地元スポーツ関係団体以外との関係も深くなってきました。
16. 課題としては、倶楽部の活動の PR は、まだまだ口込みでの情報伝達故に多くの参加者には至らず、事業採算的にはさらなる努力と運営面も含めて総合的な改善がより必要である。特に大きな課題として、安定的な会場と質の高い指導者および事務所・職員の確保によるマネジメント機能の充実のための財務基盤の確立が継続的なテーマとなります。

Ⅱ. 事業内容

(1) スポーツ教室事業

1) バスケットボール教室

- ① 小学生 i 馬込地区 2・4 土/月午前 4 月～ 馬込中学校体育館
入会者 12 人、年 20 回、延べ 196 人参加
- ii 蒲田地区 1・3 土/月午後 4 月～ 蒲田高校体育館他
入会者 28 人、年 24 回、延べ 337 人参加
- iii 出雲地区 1・3 木/月夕方 4 月～ 出雲小学校体育館
入会者 24 人、年 24 回、延べ 408 人参加
- iv 久原地区 2・4 月/月夕方 4 月～ 松仙小学校体育館
入会者 14 人、年 24 回、延べ 253 人参加

- v 調布地区 2・4月/火夕方 8月～ 東一小学校体育館
入会者 19 人、22 回、延べ 190 人参加
- vi 矢口地区 2・4 金/月夕方 4月～ 矢口中学校体育館
入会者 24 人、年 24 回、延べ 361 人参加
- vii 羽田地区 2・4 金/月夕方 1月～ ヤマトフオーラム
入会者 3 人、年 6 回、延べ 18 人参加

② 中高校一般

- i 蒲田地区 1・3 日/月夕方 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 32 人、年 24 回、延べ 384 人参加

③ バスケフリータイム・ゲームタイム

フリータイム 33 回、ゲームタイム 1 回開催し延べ参加者 798 人の方が、思い思いのスタイルでバスケットボールを楽しんで頂けたと思います。

④ OTA バスケットボールフェスティバル

雪谷高校バスケットボール部中心に、大森第十中学校バスケットボール部、久が原ウイングスミニバスケットボールチーム合計 70 人が参加し、一般クラブチームアースフレンズから指導者を派遣して頂き、小中高合同での練習会、交流試合を行うことができました。

2) テニス教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 小学生から成人 (10～54 歳)
- ② 開催日 4月～ 2回/月 日曜日午前 年 25 回開催
- ③ 参加者 入会者 15 人、延べ 225 人参加
- ④ 場 所 蒲田高校・桜台高校テニスコート
- ⑤ 内 容 初級・中級者を対象としたテニススクール
- ⑥ 倶楽部交流試合 3 回
 - i 期 日 2013 年 6 月 30 日、7 月 14 日、12 月 8 日
 - ii 場 所 桜台高校・蒲田高校テニスコート
 - iii 参加者 36 人
 - iv 主 旨 倶楽部会員家族との交流試合

3) 健康体操教室 (雪谷地区)

- ① 対 象 洗足地区 50 歳～の中高齢者
- ② 開催日 4月～ 毎週金曜日の午後 年 47 回開催
- ③ 参加者 入会者 24 人、延べ 846 人参加
- ④ 場 所 ㈱ニチレイ研修センター体育室他

- ⑤ 内 容 高齢者向け健康体操
- ⑥ 協 力 利根川 K スタジオ

4) チアリーディング教室 (雪谷地区ジュニア)

- ① 対 象 小学生～中学生
- ② 開催日 4月～ 毎週土日月曜日 年 527 回開催
- ③ 参加者 入会者 134 人、延べ 6,963 人参加
- ④ 場 所 雪谷中学校・大森十中体育館、(株)ニレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上・USA ナショナルズ大会や地域イベントの参加
- ⑥ ヴィッキーズ ヴァーシティ強化合宿
 - i 期 日 2014 年 1 月 4～6 日
 - ii 場 所 平和島ユースセンター
 - iii 参加者 ヴァーシティ 25 人
 - iv 主 旨 USA ナショナルズ大会に向けての強化合宿
- ⑦ 第一回ヴィッキーズチアリーディングフェスティバル
 - i 期 日 2013 年 12 月 22 日、
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 670 人
 - iv 主 旨 自主発表会でのチア演技と交流
- ⑧ USA ナショナルズ全国大会
 - i 期 日 2014 年 3 月 29 日・30 日
 - ii 場 所 幕張メッセイベントホール
 - iii 参加者 50 人
 - iv 主 旨 競技チアとしての大会参加

5) チアリーディング教室 (出雲地区ジュニア)

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 4月～ 毎週火曜日 年 108 回開催
- ③ 参加者 入会者 49 人、延べ 2,484 人
- ④ 場 所 出雲小学校体育館他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上／倶楽部は運営協力
- ⑥ イベント チアリーディングフェスティバル、OTA フェスティバル、萩中ふれあいまつり等地域イベントに参加

6) スピードミントン教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 30～50 代
- ② 開催日 4月～ 隔週土曜日 年 15 回開催
- ③ 参加者 入会者 16 人、延べ 135 人
- ④ 場 所 蒲田高校・雪谷高校体育館

- ⑤ 内 容 日本初スピードミントンの基本と普及
- ⑥ イベント 第8回日本スピードミントン交流大会を開催
 - i 期 日 2014年3月2日(日)
 - ii 場 所 蒲田高校体育館
 - iii 参加者 28人
 - iv 主 旨 スピードミントンの普及と会員間の交流

7) ジュニアビートフィット教室(大森地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 月曜日3回/月 年72回開催
- ③ 参加者 入会者22人、延べ792人
- ④ 場 所 大森第五小学校体育館他
- ⑤ 内 容 音楽に合わせて楽しくビートダンス
- ⑥ イベント OKJエアロビックフェスティバル
 - i 期 日 2014年3月21日(金)
 - ii 場 所 大森スポーツセンター
 - iii 参加者 20人
 - iv 主 旨 演技発表
 他OKJサマーキャンプ等地域イベントに参加
- ⑦ 協 力 OKJエアロビックファミリー

8) リズムダンス教室(蒲田地区)

- ① 対 象 小学生、中学生以上一般
- ② 開催日 4月～ 小学生火曜、一般日曜日3回/月
- ③ 参加者 入会者50人、延べ1,296人 年108回開催
- ④ 場 所 新宿小学校、蒲田高校体育館他
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス
- ⑥ イベント 新宿小学校60周年記念行事
 - i 期 日 2013年11月16日(土)
 - ii 場 所 池上会館
 - iii 参加者 30人
 - iv 主 旨 演技発表

9) リズムダンス教室(羽田地区)新規開設

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 1月～ 小学生月曜3回/月
- ③ 参加者 入会者13人、延べ144人 年12回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス

1 0) サッカー教室 (羽田地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 水曜、金曜日 8回/月
- ③ 参加者 入会者 73人、延べ 2,117人 年 73回開催
- ④ 場 所 羽田小学校、バトルスカイビル*
- ⑤ 内 容 サッカの基礎中心に楽しくサッカー
- ⑥ イベント インターナショナルミニサッカー
 - i 期 日 2013年 11月 30日 (土)
 - ii 場 所 駒沢公園第二球技場
 - iii 参加者 15人
 - iv 主 旨 交流試合と国際交流
- ⑦ 協 力 株フアンルーツ

1 1) 太極拳教室 (馬込地区) 指導者の関係で途中休校

- ① 対 象 一般シニア
- ② 開催日 4月～ 金曜日 4回/月
- ③ 参加者 入会者 7人、延べ 28人 年 4回開催
- ④ 場 所 西馬込コミュニティーセンター
- ⑤ 内 容 養生健康法を取り入れ楽しい太極拳

1 2) 機能改善・ヨガ教室 (羽田地区) 新規開設

- ① 対 象 一般シニア
- ② 開催日 2月～ 金曜日 4回/月
- ③ 参加者 入会者 13人、延べ 38人 年 7回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 運動の習慣化と健康体操の基本・基礎動作の習得

※教室年間開催詳細一覧表は別紙参照

(2) 大田スポーツゴミ拾い大会

1) 第二回池上地区スポーツゴミ拾い大会

池上の環境保全を住民主体で担う視点で池上小学校を中心に実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2014年 3月 8日 (土)
- ⑤ 参加者 28チーム 137名・スタッフ 70名 合計 207人

- ⑥ 場 所 大田区立池上小学校中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
 収集ゴミ 100.96キログラム
 優勝チーム：ほがらか
 2位：四中女バス A
 3位：池上本門寺

2) 第五回大田スポーツゴミ拾い大会
 羽田の国際化を視点に穴守神社を中心に実施

- ① 主 催 実行委員会
- ② 共 催 ピボットフット
- ③ 対 象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2014年3月16日(日)
- ⑤ 参加者 61チーム240名・スタッフ80名 合計320人
- ⑥ 場 所 大田区穴守神社中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内 容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
 収集ゴミ 277.66キログラム
 優勝チーム：世界一の経理(ワタミ株)
 2位：はばたき2OS(地域情報紙編集委員会)
 3位: TIACT(東京国際エアカーゴターミナル株)

(3) 年間イベント活動は、別紙一覧表を参照

(4) 主な指導者派遣活動等

1) 中学生スポーツ教室指導員

- ① 主 催 大田区教育委員会
- ② 開催日 2013年5月～2014年3月 年間14回
- ③ 場 所 雪谷中学校体育館
- ④ 参加者 区内小中学生延べ186人参加
- ⑤ 内 容 バスケットボール教室
- ⑥ 派遣者 元エバラヴィッキーズ選手

2) 羽田地区地域のサマースクール

- ① 主 催 羽田特別出張所
- ② 開催日 2013年7月29日・8月19日(月)
- ③ 場 所 羽田文化センター体育館
- ④ 参加者 小学生104人
- ⑤ 内 容 リズムダンス教室

- ⑥ 派遣者 生沼幹夫コーチ

- 3) 葛飾区ダンス・体操教室
 - ① 主 催 社会福祉法人かがやけ福祉会
 - ② 開催日 2013年4月～2014年3月
 - ③ 場 所 葛飾区シニア活動支援センター
 - ④ 参加者 在住55才以上シニア40名
 - ⑤ 内 容 チアダンス教室の開催に講師派遣
 - ⑥ 派遣者 山田僚子コーチ

- 4) 横浜市地域クラブアシスタント養成講座
 - ① 開催日 2012年7月6日(土)
 - ② 場 所 横浜市スポーツ医科学センター中研修室
 - ③ 参加者 クラブ運営スタッフ25名
 - ④ 内 容 総合型スポーツクラブの作り方
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長

- 5) 東京都運動部活指導者講習会
 - ① 開催日 2013年11月20日・26日(火)
 - ② 場 所 新宿スポーツセンター体育館
 - ③ 参加者 都内中高等学校部活指導者、顧問
 - ④ 内 容 バスケットボールの基本技術の習得
 - ⑤ 派遣者 桑田理事長

- 6) 総合型地域スポーツクラブ育成事業関東ブロックミーティング
 - ① 主 催 (公財)日本体育協会、SC全国ネットワーク
 - ② 開催日 2013年12月7日(土)～8日(日)
 - ③ 場 所 栃木県総合教育センター
 - ④ 参加者 関東ブロック地域スポーツクラブ関係者
 - ⑤ 内 容 ブロック内交流活動、連携協力体制の強化
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

- 7) スポーツ兵庫21 全県スポーツサミット
 - ① 主 催 兵庫県体育協会
 - ② 開催日 2013年12月15日
 - ③ 場 所 兵庫県民会館
 - ④ 参加者 県内スポーツクラブ関係者
 - ⑤ 内 容 地域スポーツクラブ自主自立
 - ⑥ 派遣者 桑田理事長

8) 公認クラブマネージャー研修会

- ① 主 催 日本体育協会
- ② 開催日 2014年1月18日(土)
- ③ 場 所 NPO 法人成岩スポーツクラブ
- ④ 参加者 全国スポーツクラブマネージャー
- ⑤ 内 容 地域スポーツクラブ自主自立
- ⑥ 派遣者 桑田理事長

9) 総合型SCカンファレンス

- ① 主 催 北海道環境生活部・総合型SC北海道ネット
- ② 開催日 2014年1月25日(土)
- ③ 場 所 北海道中島体育センター
- ④ 参加者 道内スポーツクラブ関係者
- ⑤ 内 容 地域スポーツクラブの今後
- ⑥ 派遣者 桑田理事長

10) 神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク研修会

- ① 主 催 神奈川県立体育センター
- ② 開催日 2014年2月23日(日)
- ③ 場 所 神奈川県立体育センター
- ④ 参加者 県内スポーツクラブ関係者
- ⑤ 内 容 地域スポーツクラブの今後
- ⑥ 派遣者 桑田理事長

11) 大田区議会研修会

- ① 主 催 大田区議会
- ② 開催日 2014年3月5日(水)
- ③ 場 所 大田区役所
- ④ 参加者 大田区議会議員
- ⑤ 内 容 東京オリンピックと地域スポーツクラブ
- ⑥ 派遣者 桑田理事長